児童虐待に気付いた、虐待しそうになった時は相談・通報を

児童虐待の相談や通報の窓口が市町村にもできました。窓口は、町民生活課　子育て支援室です。

児童虐待に気付いた時、わが子を虐待しそうになった時は通報・相談をしてください。誰が相談・通報したかを漏らすことはありません！

児童虐待 相談・通報窓口

町民生活課 子育て支援室
月曜日～金曜日　8:30～17:30、夜間・休日も担当者に取り次ぎます
TEL 66-3116

米子児童相談所
TEL 33-1471

※　12月号で高齢者虐待について掲載していますが、児童虐待は「身体的虐待」「性的虐待」「養育放棄」「心理的虐待」の４つに分類しています。

南部町ＣＡＴＶ加入促進期間が終了します

CATV整備工事は引き込み工事の大詰めを迎えており、すでにケーブルテレビをご視聴になっている世帯も多数あります。

平成19年３月末をもって整備事業が完了し、加入促進期間が終了しますので、加入希望の方はお早めにお申し込みください。

なお、平成19年４月以降の加入については次のとおりとなります。

（３月末まで）加入金　10,500円
↓
（４月 以 降）加入金　63,000円

お申し込み・お問い合わせ先

中海テレビ放送　TEL 29-2211
企画政策課　TEL 66-3113

教育委員に毎川秀巳（まいかわひでみ）さん

任期満了に伴い、11月24日に開催された臨時議会の同意を得て、毎川秀巳さん（馬良佐）が教育委員に再任されました。

任期は平成22年12月７日まで。

「学校教育、家庭教育共に問題山積で、教育委員会の存在意義も問われているこの頃、その責任の重さを痛感しております。民意を教育行政に反映されることを心掛け務めさせて頂きます。」

自衛官募集

対象　18歳から27歳未満の男性
職種　２等陸海空士
くわしくはお問い合わせください。

お問い合わせ先

自衛隊米子地域事務所
TEL 33-2440

南部町の企業を紹介します ⑦

株式会社マブチ

株式会社マブチは輸送や輸出品の梱包（こんぽう）を行う企業として昭和51年に神奈川県で設立され、平成12年１月に島根県安来市の日立金属の製品の輸送、梱包を担っていた安来工場が移転し、鳥取工場として南部町で操業（そうぎょう）が開始されました。

主力は一般・プラント梱包と自動車を部品ごとに梱包するノックダウン梱包で、主要な取引先は、日野自動車、ダイハツなどです。梱包用の木箱の製作・販売も行っており、大小さまざまな大きさ、形の箱を、月に約４，０００箱出荷しています。

一口に梱包といっても、梱包に使う素材の選択、錆（さび）や破損の防止、コストの削減などを考えて、輸送する品物に合わせた最良の方法を考えなくてはならず、運ぶ物、運ぶ場所によって方法は様々です。輸出貨物は、梱包資材も木製では虫が付いている可能性があるため、規制の対象となる場合があり、鉄で箱を作るなどの工夫が必要となります。また、コンテナ単位で送料が必要となるため、１台のコンテナに、どれだけ多くの製品を効率よく積むことができるかを他社と競い合います。

鳥取工場は、従業員12人、シルバー人材センターから５人、運送を担当する外注４人を含めた21人が勤務されています。

「工場北側に購入した土地が空いているので、ここに周りの地域・企業のためになる事業を展開させていきたいと考えています。」と話してくださいました。

株式会社マブチ

所　在　地	南部町原303
設　　立	昭和51年10月

まちの話題

桜の名所を守る
桜の剪定ボランティア

テングス病にかかった枝を切り除く参加者

12月3日、法勝寺川土手の桜のテングス病駆除のため、桜の剪定がボランティアで行われ、天津クラブ、河畔クラブ、住民有志の約20人が参加しました。テングス病は放っておくと花が咲かなくなり、5年から10年で桜を枯らせてしまいます。参加した男性は「法勝寺の桜は他の地域の同年代の桜と比べて元気に見えます。枝を取ると元気になるみたい」と話されました。剪定作業は天津クラブが約15年、河畔クラブが約40年に渡って行っており、地道な作業が法勝寺川の桜を守っています。

元気な農業をめざして
農業振興大会

12月9日、プラザ西伯で農業振興大会が開催され、約150人の町民のみなさんが参加されました。

年商30億を超える柚子製品の販売を通して、地域おこしを行った高知県馬路村農協組合長の東谷望史さんの講演が行われ、販路確保までの苦労とともに、「小さな村が生き残るには、いかに村外を巻き込み、村そのものを売り込むかでした。」と、都会にない田舎のよさを見直すことの重要性を話されました。

また、町内で活躍する農業団体、個人の表彰も行われ、事例発表では、がんばる農業者の活動が報告され、これからの展望や目標を語り合いました。

講演する東谷望史さん

学校給食の調理を民間へ
業者選定審査会

業者提案を受けての審査会

民間への調理等業務委託が決定されている西伯給食センター（法勝寺）の業者選定審査会が12月22日、天萬庁舎で行われました。

5社が参加し、最優秀提案者に株式会社メフォスが選定されました。講評では「提案構想が適切・明確で、地元食材の使用への積極的な取り組み姿勢や、人員配置など優れた提案」と評価されていました。今後契約に向けて具体的に協議し、平成19年4月から委託開始の予定です。業務委託は調理と配送のみに限定されており、献立や食材調達は今までどおり町が行います。

いとをかし
古布遊び

11月17日から12月4日まで、祐生出会いの館で広池春恵さん（法勝寺）と春布会の皆さんのちりめん細工などの作品、約200点が展示されました。会場では広池さんによる作品の解説も行われ、来場者は目にとまった作品について質問をしながら、古い着物や帯、端切れを材料にした人形や袋物、タペストリー、押し絵など、味わい深い風合いの作品に見入っていました。会場には期間中約1，200人が訪れました

広池さん（右端）と春布会の皆さん

干支の押し絵

小さなタイルが大きな1本の木へ
モザイク壁画除幕式

今年6月から約6か月をかけて会見小学校に作成された壁画の除幕式が12月22日に行われました。

壁画は会見小学校のコミュニティスクール導入を記念して、「元気なあいみっ子と大自然」をテーマに、タイルで様々な模様が描かれた294のパーツが組み合わされ、一つの大きな木が描かれています。

作成は会見小学校学校応援隊共同制作部を中心に、会見小学校児童約200人、保護者と地域の人約100人が参加し、モザイク作家の山根章さんの指導で行われました。

社会教育の功績が認められ
文部科学大臣表彰

ふるさとガイドの会の創設者で、会見小学校地域協働学校運営の活動などを行う岡田昌孫さん（市山）が、文部科学大臣から社会教育功労者表彰を受けました。

受賞について岡田さんは、「〝故郷に学び、ふるさとを守る〟を原点に大勢の仲間と楽しみながらやっていることで表彰を受けたので、もったいない気持ちです」と話されました。岡田さんは長年文化財保護審議委員を務めるかたわら、公民館活動の活性化や地域に根ざした教育など、社会教育の最前線に携わる活動を行っています。同賞の受賞者は全国で109人、県内では2人でした。

人の動き
12月届出分（敬称略）

お誕生おめでとう

氏名	住所
保護者	
田村 成啓太	天萬
志乃	
都田 優杏和樹梨	天萬
和也	
黒田 真央麻衣子	三崎
和男	
亀澤 和衣美	福頼
登樹	

ごめい福を祈ります

氏名	年齢	住所
恩田 令治	79歳	阿賀
景山 比富美	74歳	阿賀
遠藤 芳美	65歳	円山
岡田 をかの	88歳	宮前
平田 静代	66歳	鴨部
三好 明文	72歳	阿賀
亀尾 遥	80歳	東町
前谷 みどり	88歳	福成
門脇 泰子	87歳	天萬
中川 よし子	93歳	鴨部
小早川 好枝	72歳	高姫
安森 務	89歳	寺内
田子 安雄	76歳	境
山田 つる	94歳	天萬

※届け出時に広報への掲載を同意された方のみ載せています。

わたしたちの町
1月1日現在（前月比）

人口12、277（−1）人　世帯数3、933（0）戸
男　5、772（+3）人　女　6、505（−4）人

イベントカレンダー

2月	4	7	13
※予定は変わることもあります。	日	水	火
	ソフトビーチバレーボール大会「法勝寺中学校体育館」午前9時～	人権・行政相談「しあわせ」午前9時～	人権・行政相談「交流会館」午後1時～

1月の税金は

町県民税　第4期
国民健康保険税　第8期